

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農林企画課	■担当係	農林企画係
■評価事業名称	更木地区養蚕再生プロジェクト推進事業		
■事業開始年度	平成30年度		
■評価事業コード	050100 - 055	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり	
	■基本施策	03 魅力ある農林業の振興	
	■施策	05 魅力あふれる農山村の確立	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の概要	蚕(カイコ)やシルクに含まれる成分を利用した健康食品等への需要が高まってきていることから、「更木ふるさと興社」や岩手大学発ベンチャー企業「バイオコクーン研究所」などと連携しながら、カイコの生産や体験プログラムの企画を行う人材を地域おこし協力隊の制度を活用して募集し、新たな視点や最先端技術を活かした養蚕文化の再生を通じて、安定的な生産体制の構築や交流人口増加を目指すもの。地域おこし協力隊隊員への報奨費		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	更木地区養蚕再生プロジェクト推進事業	隊員、地域住民	(仮)○地域おこし協力隊員1名の養蚕事業に向けた活動支援(報償費2,400千円)○年度途中で採用があれば、さらに1名分追加。	地域おこし協力隊員1名の養蚕事業に向けた活動支援(報償費2,240千円)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費			5	2,254	
人件費			1,537	2,287	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト			1,542	4,541	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	協力隊員数			0人	1人	

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

当初計画から1年遅れとなったものの、令和元年度において1名の隊員を委嘱することができた。

問題点・課題等

受入れ団体の指導を受けながら、プロジェクトの目的に向かって、着実に力をつけてもらう必要がある。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

募集内容を見直したことで、令和1年度から、1名採用することができた。また、追加募集を行い、令和2年度からさらに1名委嘱することで、予定どおり2名体制となる。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了